

お 知 ら せ

平成 29 年 7 月 28 日
東北電力株式会社

東新潟火力発電所港 1 号機の運転再開について

当社東新潟火力発電所港 1 号機（新潟県北蒲原郡聖籠町、定格出力 35 万 kW）は、ボイラーからタービンにつながるボイラー高温再熱蒸気管※を覆っている保温材の外面から、微量の水の滴下が認められたため、平成 29 年 1 月 20 日より発電を停止し、点検を行ったところ、ボイラー高温再熱蒸気管の溶接部にひび割れが確認されたことから、原因調査および当該管の修理を実施しておりました。

（平成 29 年 1 月 27 日お知らせ済み）

原因調査の結果、ひび割れは長期間の運転に伴い、配管溶接部の金属が劣化したことによるものと推定したことから、当該箇所の配管について取替えおよび修理を行い、7 月 28 日（金）9 時 30 分に営業運転を再開いたしました。

当社といたしましては、今後も安全を最優先に、発電所の安定運転に万全を期してまいります。

※一度タービンで使用された蒸気を、再度ボイラーで加熱し、タービンに送るための配管

【東新潟火力発電所の概要】

	出力（kW）	燃料	運転開始年月
1 号機	600,000	LNG・天然ガス・重原油	昭和 52 年 4 月
2 号機	600,000	LNG・天然ガス・重原油	昭和 58 年 6 月
3 号系列	1,210,000	LNG	昭和 59 年 12 月(3-1) 昭和 60 年 10 月(3-2)
4 号系列	1,700,000	LNG	平成 11 年 7 月(4-1) 平成 18 年 12 月(4-2)
5 号機	339,000	LNG	平成 24 年 6 月
港 1 号機	350,000	LNG・重油	昭和 47 年 11 月
港 2 号機	350,000	LNG・重油	昭和 50 年 11 月

（別紙）東新潟火力発電所港 1 号機 概略図

以 上